

## 「共謀罪」法強行へ怒りの声 廃止と安倍政権打倒を

2017年6月25日(日) 第1837号  
新にいがた社 新潟市中央区花園2-3-10 ☎025(247)6366  
毎月4日曜日 定価150円 1966年7月22日 第三種郵便物認可



怒りの声をあげる女性の会のデモ行進=15日、新潟市

安倍政権の「共謀罪」法の強行採決に抗議して、共謀罪NO!実行委員会in新潟と総がかり行動実行委員会、市民連合@新潟は15日夜、新潟駅南口広場で緊急大集会を開き、700人が参加しました。野党5党代表が参加し、怒りの声と野党と市民共闘による安倍政権打倒の声が相次ぎました。県平和運動センター

の斎藤悦男議長は「十分な審議もしないでの暴挙に断固抗議する。新潟での参議院選、知事選勝利の共同の力で、安倍政権を打倒しよう」と呼びかけました。市民連合の金子修共同代表は「安保法制廃止の運動に、さらに共謀罪廃止の運動が加わった。発動させないため縛りをつける運動を」と強調しました。

大勢の参加者



連帯あいさつで民進党県連の加藤大弥常任幹事は「今日の怒りを胸に安倍政権打倒で」と力説。日本共産党の、にしざわ博典政策委員長(衆院北陸信越比例候補)は「民主主義を根底から覆し、憲法違反の暴挙に抗議する。共同を広げに広げ、自民・公明と補完勢力を少数に追い込もう」と訴えました。社民党県連の小山芳元代表は「共同した財産で、共謀罪廃止、安倍政権打倒で頑張る」と強調。新社会党県本部の小林義昭委員長は「安倍政権打倒で県内



「ヒバクシャ署名」を呼びかける新婦人の人たち=17日、新潟市

### 核兵器禁止 今こそ

新婦人らヒバクシャ署名訴え

野党6党と市民の力で、統一候補擁立の話し合いを早急に求めたい」と力を込め、緑の党の中山均共同代表は「憤りを力に変えていこう」と訴えました。集会後、「共謀罪は廃止」「安倍政権打倒」などと唱和し、デモ行進しました。

国連核兵器禁止条約 100%で女性行動が取り組まれることにあ

わせて、新日本婦人会新潟県本部と県原水協は17日、新潟市で「ヒバクシャ国際署名」の街頭行動を行いました。20人以上が参加し、折り鶴の帽子をかぶり、折り紙も用意して市民に訴えました。赤沢富美子新婦人会長が「すべての国に禁止条約を結ぶことを求めています。条約実現の後押しとなる署名にご協力ください」と呼びかけました。赤井純治原水協代表理事は「生きているうちに核兵器をなくすことが被爆者の願いです。被爆者が最後の力を振り絞って訴えている署名にご協力を」と訴えました。署名した70代の女性は「核兵器は絶対なくさなくてはいけない。賛同しない安倍首相は絶対やめてほしい」と力を込めました。60代の男性は「核兵器が使用されれば戦争になる。森友も家計も安倍政権ははっきりしないのでだめだ」と語りました。鶴折りで立ち止まる人や、外国人2人が署名する場面もありました。

党演説会

# 市民と野党の共闘で安倍改憲阻止

## 比例2議席獲得を 山下・藤野・にしざわ氏訴え



激励に応える山下氏(中央)と、藤野、にしざわ、いとう、まちだ、細井の各候補=10日、新潟市

日本共産党新潟県委員会は10日、山下芳生副委員長・参院議員を迎え、新潟市の県民会館で演説会を開きました。県知事選をともにたたかった野党各党と市民団体代表もあいさつし、総選挙でも「共闘」を成功させ安倍9条改憲を阻止しようという決意を固めました。

会場の大ホールは、新潟、下越地区内からの1200人の参加者で満席。山下氏は、参院選、知事選勝利という大きな変化をつくったのが新潟だとし、「安倍自公政権とその補完勢力に対し、『野党と市民』が対決するという日本の新しい流れを生みだしたトップランナー」と激励しました。

山下氏は、全国のコメどころの不安を背景に、自民党議員の中からも、交付金廃止で浮いたお金をコメ対策に回せとの声が上がっていることについて「それなら廃止しなければいいではないか」と批判し、日本の安心・安全なコメどころ新潟を守るためにも戸別所得補償制度を復活できるように頑張りたいと訴えました。

衆院北陸信越比例候補の藤野保史衆院議員、にしざわ博氏(5区重複)が比例2議席獲得へ決意表明しました。藤野氏は、「共謀罪」法案の審議で金田法務大臣が戦前の治安維持法について「適法」だと答弁したことについて批判。「こんな歴史認識を持つ政権に『共謀罪』を持たせることほど危険なことはない。野党と市民のみなさんと固く連携して廃案に追い込みたい」と力を込めました。

1区・まちだ明広、2区・細井よしお、3区・いとう誠の各候補も訴えました。自由党の森ゆうこ参院議員、社民党の山元芳元連代表、新社会

党の小林義昭県本部長、「市民連合@新にいがた」の佐々木寛共同代表が来賓あいさつを寄せました。



懇談会で民主県政への決意をのべる米山知事(中央)=20日、新潟市

### 安全・福祉優先の県政とともに

#### 米山知事と民主の会懇談

「民主県政をつくる新潟県みんなの会」は20日、新潟市内で米山隆一知事と懇談会を開きました。

米山知事は、原発再稼働問題では公約通り、近々検証委員会を立ち上げる予定である

味岡申宰世話人代表(弁護士)が、民主県政の米山県政を支え、

があまりにも個人をな

いとしろにきて、それを褒めるには勇気と決断が必要だと強調しました。米山知事は、たとえば給付制奨学金についても非課税世帯程度ならやれるが、対象を10%、20%に増やすとすれば多額の予算が必要となり、働き方や福祉など今のやり方を変えらるには、県政が多数派になることが不可欠で、民主県政を進めるために、自民党一強体制を打破することで、力を合わせて頑張っていきたいと訴えました。

各団体から要望や意見が出されました。「遅れている子ども医療費助成拡充を」「(新婦人)」「県民、住民の目線で医療・介護政策を」「(民医連)」「関東13県で最低の賃金と長時間労働を改善して」「(県労連)」「零細業者に仕事がまわる産業振興を」「(民商連)」「保険料滞納が減り、国保証取り上げがない制度に」「(生活と健康を守る会)」「農業が継続できる支援制度を」「(農民連)」などと訴えました。

# 国連で核兵器禁止条約必ず実現を

## 原水協青年部 代表派遣でトビアスさん壮行会



トビアスさんに「ヒバクシャ署名」を渡し、条約実現、署名達成を誓いあう赤井氏(右端)ら

原水爆禁止新潟県協議会青年部は10日、国連核兵器禁止条約交渉会議に要請団の一員として県原水協の代表で派遣する青年の壮行会を行いました。

青年は新潟大学3年生のアロンソ・トビアスさん(21)。トビアスさんは、大学の平和を考えるとという講義で被爆者の体験を聞いたことがきっかけで、毎月1回開かれる青年部の学習会に参加。「ヒバクシャ署名」を渡すことにもなりました。

不拡散条約(NPT)を検討会議のときに国連にいきなり参加して、世界で多くの人が運動していることを実感した。ぜひ大きな声を上げてきてほしい」とエールを送りました。

自分がNPT会議に参加した体験から、現地の青年や交流会、署名活動で対話がしやすいように、折り鶴や原爆で焼けた瓦を見せて対話するよう助言しました。

「これまでの原水禁運動の蓄積が条約実現に向かわせた。採択されれば今度は核兵器廃絶に向けた運動が大切になってくる」と強調しました。

赤井純治代表理事は、集めた女子学生は「トビアスさんの帰国後の報告で刺激をもらい、署名でさらに頑張りたい」と述べました。

### 1人の署名核廃絶早める

#### 赤井代表理事千人近く集め

「国連会議までに、目標を達成せねば、との責任感から署名を集めています。1人の署名が核廃絶を1秒早めるという気持ちで」。新潟県原水協の赤井純治代表理事(新潟大学名誉教授)は、核兵器禁止条約締結のための国連会議(6月15日、7月7日)に向け「ヒバクシャ国際署名」を、千人近くまで集めています。

赤井さんは、いつもカバンに署名用紙を入れ、知人はもちろん、知らない人でも機会があれば勇気をだして署名を訴えます。先日、偶然入った喫茶店に「ち

### 年金削減は許さない

#### 第2次提訴で宣伝

全日本年金者組合新潟県本部の組合員らが、国の連続的な年金削減は違憲であるとして、削減された年金の支給と国家賠償を求め提訴している裁判で、同組合員は15日、143人が新潟地裁に第2次提訴をしました。3月30日に12人が提訴したことに続くもの。



署名を訴える年金者組合=15日、新潟市

21人が提訴した同小千谷支部の太刀川竹之さんは「高齢者はじわじわ苦しんでいる。裁判に立ちあがった。最低年金制度創設で頑張る」と述べました。

# ノーモア・ミナマタ 全被害者救済すべくに

## 原告団が5回総会

「ノーモア・ミナマタ第2次新潟全被害者救済訴訟原告団」は5月27日、新潟市で第5回総会を開き、80人を超える原告と弁護団、支援の新潟水俣病共闘会議のメンバーが参加しました。同じ水俣病裁判を闘う熊本と東京



全被害者救済で裁判勝利を誓いあった総会

## 柏崎刈羽活断層調査独自に 研究会が規制委に要請

新潟県の東京電力柏崎刈羽原発の敷地内の断層が火山灰分析で活断層の可能性が疑われるとして、県内の地質学者らでつくる「柏崎刈羽原発活断層問題研究会」は5月29日、県庁で記者会見し、原子



力規制委員会に厳正な科学的審査をするよう申し入れ書を送付(22日)したことを発表しました。

大野隆一郎代表、寺崎紘一氏、立石雅昭新潟大学名誉教授(県技術委員会委員)が会見しました。

規制委は、6、7号機の再稼働の前提となる審査で、敷地内に活断層はないとする東電の評価を了承しています。

大野氏らは火山灰分析の結果、東電が20万年前堆積したとして活断層を否定する根拠にしている火山灰「刈羽テフラ」について、同原発から約10き地点の12万〜13万年前の地層に含まれた火山灰と同

今後は国の責任追及と並行して、原告が水俣病であることを立証することに全力を上げることが弁護団会議で確認されています。

弁護団の「提訴後に4人の原告が亡くなった。生きているうちに解決を図るために2年以内の結審をめざす。そのために今やるべき

ことは裁判所に提出する陳述書を原告と弁護士の共同作業で完成させる」との方針を大きな拍手で決議しました。

総会で、新たに4人の原告団幹事が選出され、強化された原告団役員会を代表して皆川栄一団長が決意表明し、団結カンパローで閉会となりました。

じだったことが研究会の分析で明らかになったと指摘。規制委に敷地内断層の活動年代に関する中・上部更新統に関する科学的審査のやり直しを要請したと強調しました。

代表らは「規制委員会が、活断層ではないとする根拠が分からず、審査のシステムそのものがおかしい。我々が問題ありと指摘した以上、独自調査し、きちんと答える義務がある」「意見聴取で呼び出しがあれば、いつでも応じる用意がある」などとも述べました。

## 新発田市副議長に 佐藤真澄氏選出

新発田市議会は、14日に開いた本会議で議長と副議長の選出を行い、副議長には日本共産党市議団(3人)の佐藤真澄市議(67)が8期目を選出しました。

同市議会では、女性と日本共産党議員が副議長に選出されるのは初めてです。

佐藤市議は「公平、公正で、きちんとした議会運営をめざす」という所信で、保守系議員へ派と一致し、副議長に選出されました。

新発田市議会は、14日に開いた本会議で議長と副議長の選出を行い、副議長には日本共産党市議団(3人)の佐藤真澄市議(67)が8期目を選出しました。

同市議会では、女性と日本共産党議員が副議長に選出されるのは初めてです。

佐藤市議は「公平、公正で、きちんとした議会運営をめざす」という所信で、保守系議員へ派と一致し、副議長に選出されました。

社会医療法人 新潟勤労者医療協会			
理事長・高橋常彦	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	Tel.0250 (24) 5170
下越病院	〒956-0814	新潟市秋葉区東金沢1459-1	Tel.0250-22-4711
舟江診療所	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	Tel.025-229-3588
介護老人保健施設入舟	〒951-8011	新潟市中央区入船町3-3629-1	Tel.025-229-3588
沼垂診療所	〒950-0075	新潟市中央区沼垂東6-4-12	Tel.025-244-0116
坂井輪診療所	〒950-2054	新潟市西区寺尾東3-8-35	Tel.025-269-6630
おぎの里	〒956-0012	新潟市秋葉区荻野町3-8	Tel.0250-25-3071
ときわ診療所	〒950-0036	新潟市東区空港西1-15-17	Tel.025-274-2714
かえつクリニック	〒956-0836	新潟市秋葉区田家2-1-30	Tel.0250-22-5888
かえつ歯科	〒956-0831	新潟市秋葉区中沢町1-25	Tel.0250-25-5510

すくすく 伸びてネ

地方政治と住民運動の専門誌

## 議会と自治体

月刊

「子どもらに」「共謀罪」法案が成立した。次は平和憲法破壊だ。許せない。のびやかな信頼関係をもった次世代と約束するために手をつなごう。(高橋シズ)